

競技注意事項

1. 競技規則について

本競技会は、2026 年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに大会要項、競技注意事項、申し合わせ事項に則って実施する。本競技会の競歩及び投てきを除いた種目は WRk 申請対象とする。

2. 競技場内で着用できる衣類と持ち込める物品について

「競技会における広告および展示物に関する規程」（国内）により、競技場内で着用できる衣類等に掲出できる製造会社名/ロゴ、スポンサー名/ロゴの大きさ、数について事前に確認しておくこと。違反している場合はテープ等でマスキングを行う。

3. 練習について

① 補助競技場、室内雨天走路、投てき場を使用することができる。競技運営室 8 は、競技運営エリアのため使用できない。

② 補助競技場のレーンは下表のとおり使用すること。

| | |
|-----------------------|---|
| 縁石より内側 | ウォーキング |
| 1・2 レーン（周回） | 競歩、ジョギング～中長距離のレーススピード |
| 3～8 レーン （ホームストレート） | 短距離系（スタートダッシュ～スプリント）、動き作り ※男子 110mH および女子 100mH のウォームアップ時には、5～8 レーンにハードルを設置する |
| 3～8 レーン（周回） | 短距離系（リレー含む） 中長距離系（レーススピード～スプリント） ※400mH のウォームアップ時には、5・6 レーンは女子、7・8 レーンは男子専用とする。 |

③ 補助競技場の芝生内において、芝生を傷める用器具（ミニハードルやラダー等）の使用は禁止とする。

④ 投てき競技種目の練習は、投てき場にて次の時間に行うことができる。

| | 砲丸投 | 円盤投 | ハンマー投 | やり投 |
|------|----------|-------------|---------|------------------------|
| 1 日目 | 開門～13:50 | 15:00～16:40 | 開門～9:35 | 15:00～16:40 |
| 2 日目 | 開門～12:25 | 9:00～10:30 | × | 開門～9:00 16:30～17:00 |
| 3 日目 | × | × | × | 開門～8:50 |

4. 各種書類について

- ① 大会期間中の各種書類の配付および提出の窓口については、次のとおりとする。

| 書類名 | 場所 |
|-----------|-------------------|
| 欠場届 | 招集所（1ゲート内） |
| 多種目同時出場届 | |
| リレーオーダー用紙 | |
| 記録証明書 | 主催者本部（1F 競技運営室 7） |

- ② 開設時間は 8:00～競技終了 30 分後までとする。

5. アスリートビブスについて

- ① 東北学生陸上競技連盟より 2026 年登録時に配布されたアスリートビブスを使用すること。
- ② 5000m、10000m、5000m 競歩については、招集完了時刻の 1 時間前までに招集所に上記①のアスリートビブスを持参し、本人確認を行った後、招集係より配布されたレーンナンバービブス（1 枚）を競技用トップスの前面に取り付けること。なお、10000m 及び 5000m 競歩は男女同時実施競技として行うので、女子競技者のレーンナンバーは、男子競技者の最下番号の次番号から順に割り当てる。
- ③ トラック競技に出場する競技者には、招集所にて腰ナンバービブスを配布するので、ショーツまたは下半身の右側面に取り付けること。
- ④ 跳躍種目については、競技用トップスの前面また背面の片方だけで構わない。

6. 招集について

- ① 招集所は、1 ゲート内（100m スタート後方）に設置する。ただし、混成競技については、各日最初の種目に限り招集所にて行い、その他の種目は現地にて行う。
- ② 種目別、組別の招集完了時刻は、競技日程に記載のとおりとする。競技者は、完了時刻までに招集所に集合すること。完了時刻に遅れた競技者は、その種目を欠場するものとみなす。
- ③ 招集所には開始時刻から入ることができる。集合後、競技者係から腰ナンバービブス（トラック競技に出場する競技者のみ）を受け取り、当該種目に出場する競技者本人が点呼を受け、以下のチェックを受けること。
- ・アスリートビブスを付けた競技用トップス
 - ・競技靴およびスパイクピン
 - ・持ち込み衣類、持ち込み物品
 - ・所有物の商標のチェック
- その後、競技役員の指示に従い、競技実施場所へ移動する。
- ④ 競技規則 TR6.3.2 に記載の機器および通信機能を有する機器は、招集所から競技場所に持ち込むことはできない。違反した場合は警告・失格の対象となる場合がある。ただし、フィールド種目に出場している競技者に対して、録画映像を提供する者のすぐ近く（コーチングエリア近辺）であれば、録画した機材（ビデオ装置・携帯電話等）を競技者自身が手に取り、操作して確認す

ることが認められる。しかし、競技者自身が録画機材等を招集所から持ち込むこと、映像確認後に競技場所等へ録画機器を持ち込むことは禁止とし、警告・失格の対象となる場合がある。

- ⑤ リレーチームの編成については、TR24.10 を適用する。リレー種目に出場するチームは、リレーオーダー用紙（招集所に用意）に必要事項を記入し、招集完了時刻 1 時間前までに招集所に提出すること。リレーオーダー用紙の提出が遅れたチームは、その種目を欠場するものとみなす。
- ⑥ 同時進行種目への出場競技者は、招集を受けられない種目の招集完了時刻までに、多種目同時出場届（招集所に用意）に必要事項を記入し、招集所に提出すること。

7. 欠場について

やむを得ず出場を辞退する場合は、次の要領で「欠場届」を提出する。

- ① 5 月 28 日（木）正午までは、東北学連 HP に掲載してある「欠場届」（Google フォーム）に必要事項を記入し、提出する。欠場者数によっては、ラウンド数の変更や番組の再編成があるため、必ず提出すること。
- ② 5 月 28 日（木）正午以降は、大会期間中に招集所に用意してある「欠場届」に必要事項を記入し、招集所に提出する。
- ③ 本競技会において、TR4.4（国際）は適用しない。

8. 用具について

- ① 本競技会で使用されるシューズについては、WA:C2.1A Athletic Shoe Regulations を適用する。WA のシューズリストを参照のこと。
- ② 棒高跳用のポールは、各自が持参したものを使用する。ポールの保管場所は大会当日に競技役員より指示する。
- ③ その他の競技に使用する用具は競技場備え付けのものを使用する。ただし、投てき競技で、個人所有の投てき物の使用を希望する場合、検査を受け使用許可を受けることで使用を認める。検定を受ける場合は、競技開始 1 時間前までに 1 ゲート側の用器具庫に持参して検定を受けること（各日 8 時 00 分より開設）。この場合、個人所有の投てき物については一時的に主催者管理備品としての扱いとなるので、他の競技者との共用になる。競技終了後に、競技役員より投てき物を返却する。
- ④ 個人所有の用具の破損に関して、主催者側は一切の責任を負わない。
- ⑤ 競技場及び周辺施設の器具を破損した場合は、必ず主催者に申し出ること。また、その際の弁償は原則として当該大学が行う。

9. 競技について

(1) トラック競技について

- ① 短距離種目では、衝突事故を防止するため、フィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーンを走る。
- ② 10000m および 5000m 競歩は男女同時実施競技として行う (TR9.4)。
- ③ 5000m、10000m および 5000m 競歩 では、紙コップによる給水を行う。

(2) フィールド競技について

- ① 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は原則として次のとおりとする。

| 種目・種別 | | 練習 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 以降 |
|-------|----|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 走高跳 | 男子 | 1m70 | 1m75 | 1m80 | 1m85 | 1m90 | 1m93 | 1m96 | +3cm |
| | 女子 | 1m35 | 1m40 | 1m45 | 1m48 | 1m51 | 1m54 | 1m57 | +3cm |
| 棒高跳 | 男子 | ※ | 3m60 | 3m80 | 4m00 | 4m20 | 4m40 | 4m50 | +10cm |
| | 女子 | ※ | 2m30 | 2m40 | 2m50 | 2m60 | 2m70 | 2m80 | +10cm |

※競技者の申し出の高さにより行う。

- ② 三段跳びの踏切版の位置は、男子 11m、女子 9m とする。
- ③ 砲丸投、円盤投、ハンマー投は男女同時実施競技として行う (TR9.4)。

(3) 混成競技について

- ① 招集は、各日最初の種目に限り招集所にて行う。それ以後の招集は行わないので、混成競技者は次の種目から混成競技控室にて待機し、競技役員の指示に従う。
- ② 混成競技控室を、選手控室 1 および 2 (1F バックストレート側ダックアウト) に設ける。該当種目の競技者および競技役員以外の控室への立ち入りは禁止とする。
- ③ 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は原則として次のとおりとする。

| 種目・種別 | | 練習 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 以降 |
|-------|-----|-------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 十種競技 | 走高跳 | 1m45 | 1m50 | 1m55 | 1m60 | 1m70 | 1m75 | 1m80 | +3cm |
| | 棒高跳 | 2m30※ | 2m30 | 2m40 | 2m50 | 2m60 | 2m70 | 2m80 | +10cm |
| 七種競技 | 走高跳 | 1m15 | 1m20 | 1m25 | 1m30 | 1m35 | 1m40 | 1m45 | +3cm |

※競技者のレベルに応じて、審判長の判断により複数の高さを設定する場合がある。

- ④ 女子七種競技やり投は、女子やり投と同時に行う。

(4) 競技結果と番組編成について

- ① 各種目の結果の正式発表は大型スクリーンにて行う。
- ② 競技結果等は記録処理終了後、随時、速報サイトにて発表する。

10. 抗議について

- ① 競技結果の正式発表時間は大型スクリーンに発表された時間を基準とする。競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議は、競技結果が大型スクリーンに発表されてから、30 分以内に、その競技者または代理人が主催者本部 (1F 競技運営室 7) に申し出た後、担当総務員を通して審判長に対して口頭で抗議を行う。その時、該当審判長から説明を受け、裁定が提示される。

- ② ①の裁定に不服な場合は、その競技者または代理人が預託金（2万円）を添え、担当総務員を通してジュリー（上訴審判員）に文書で申し出る。この預託金は上訴が受け入れられなかった場合は返金されない。

11. 対校得点について

- ① 対校得点は各種目、第1位が8点、第2位が7点、第3位が6点、第4位が5点、第5位が4点、第6位が3点、第7位が2点および第8位が1点とする。なお、同順位により、対校得点を割る場合には小数計算（小数点以下2桁まで）を行う。
- ② 対校得点と同点の場合、上位入賞種目数の多い方を上位とする（優勝種目数が同数であれば、第2位入賞種目数の多い方を上位とする。以下同様）。第8位入賞種目数まで同じ場合は、4×400mRの順位で決定する。

12. 表彰について

- ① 総合・トラック・フィールドの男女各部門において、対校得点による順位が最上位であった大学には、閉会式にて東北学生陸上競技連盟杯を授与する。
- ② 各種目の第1位入賞者にはメダルと賞状を、第2位および第3位に入賞した競技者には賞状を表彰式で授与する。競技終了後、速やかに表彰対象者待機場所（1F ダックアウト中央）に集合すること。
- ③ 表彰式の際の服装については、上は各大学の公式 T シャツあるいはジャージを着用し、下は公式ジャージを着用すること。
- ④ 第4位から第8位までに入賞した競技者には賞状を授与するので、主催者本部（1F 競技運営室7）にて受け取ること。

⑤成績の優れた男女各1名を最優秀選手として選出する。
最優秀選手賞は、今大会中における成績を参考として、
大会会長、大会委員長、大会副委員長の3者により決定する。

13. その他

- ① 大会期間中の貴重品の管理は各自で行うこと。盗難および紛失に関しては、一切の責任を負わない。なお、大会期間中に主催者に届けられた物品等については、一時的に主催者本部で保管する。
- ② 競技中の発病・負傷に対して、主催者は医務員による応急処置は行うが、責任は負わない。2026年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。
- ③ その他、不明な点に関しては、大会中は主催者本部（1F 競技運営室7）に問い合わせること。